

# 五泉市

# 議会だより



第67号

令和5年  
4月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1  
TEL.0250-43-3911 (内線370) FAX.0250-43-2716



一本杉：チューリップまつり会場

◆目次	ページ
第1回 2月定例会	2
委員会審査報告	
総務文教常任委員会	3
市民厚生常任委員会	3
建設産業常任委員会	4
一般質問	
11人が市政を問う	5～8
一般会計予算修正案	9
請願・発議・会派構成	10
主な議案の 議決結果	11
編集後記	12

## 議長室から



議長  
林 茂

新年度の一般会計予算は、二百三十六億七千五百万円の前年度当初と比較して、三・八%の増となりました。特別会計を含む全会計の予算は四百八億七千三百九十万円で、前年度当初と比較して一億六千五百七十四万二千元、〇・四%の増であります。

二月定例会では、慎重審議がおこなわれ、一般会計予算が修正可決、一般会計以外の予算が原案可決されました。予算については市長に提案権がありますが、市長が提案した予算案の一部を議員や委員会が修正することは認められています。

執行権を持つ市長も、それをチェックする議会も、共に「ずっと五泉。く次の一步を、ともに未来へ」の実現に向かって、それぞれの立場でこれが最善という意見・考えを出し合い、当局と議会が車の両輪に例えられるように、互いの思う所、進みたい方向を理解しあううえで、今後とも議会での審議を通じて五泉市の発展に寄与してまいりたいと思っております。

令和5年 第1回

# 2月 定例会

## 新年度予算など33議案を審議

令和5年第1回2月定例会が2月24日に招集され、3月20日までの25日間の会期で開催されました。

初日の24日は、会期の決定、議長報告、各会計補正予算案など8件の議案を審議・採決後、新年度に向けた市長の施政方針の説明があり、続いて市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の27日は、引き続き市政一般に関する質問を行い散会しました。

3日目の28日は、議案21件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案と施政方針に対する総括質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。また請願1件も所管常任委員会に付託しました。

最終日の3月20日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて、令和5年度一般会計予算の修正案が提出されたため、原案及び修正案について討論、採決が行われました。その後、日程追加された市長からの追加議案1件と議員発議1件などを審議・採決して閉会しました。

### 2月定例会の日程

月 日	内 容
2月24日(金)	本会議（開会、会期決定、議長報告、議案審議・採決、施政方針説明、一般質問）
27日(月)	本会議（一般質問）
28日(火)	本会議（議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
3月3日(金)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会
7日(火)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会
8日(水)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会、建設産業常任委員会
20日(月)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議、採決、閉会）

# 総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

- ◎熊倉 政一 牛腸 利栄 波塚 静亮
- 深井 邦彦 長谷川政弘 山田 正良

## 通院サポートタクシー事業について

【企画政策課】

**問** 村松地域の自宅と五泉中央病院間の通院用途のため、タクシーの実証試験をするということであるが、二人以上が相乗りして利用することはできるのか何う。

**答** いずれか一方の自宅から一緒に乗車して通院する場合は可能です。

**問** 片道一回のタクシー利用時に利用者が負担する金額は、その距離に関わらず一律千円とのことであるが、金額の積算根拠について何う。

**答** 村松地域からデマンドタクシーさくら号とふれあいバスを利用して病院まで来ると、合わせて片道五百円かかるため、まずはそれ以上の負担額とし、さくら号の収支率が約二十五パーセントとなっており、実証試験についても同等の負担として試算した額が千円です。

## (仮称)アーバンスポーツ施設建設事業について

【スポーツ推進課】

**問** 既に利用者のいる二つのプールを廃止し、一つの新設プールを造るという事業を含んでいるのだから、もう少し早い時点で、プールの改修費用や今後の新たな事業見込みを説明する必要があったと思うが、その点について何う。

**答** 懸案事項があった中で、市民の要望等もあり今回このような計画を立てましたが、大きな事業であり、前もって説明をしながら進めるべきでした。

**要望** 交流人口の増加はあったほうがいいが、大きな事業投資をするには、事前の準備が少ない。検討委員会を立ち上げた中で十分議論を重ね、状況報告を行いながら進める必要がある。あわせて、例えば学校跡地利用など、既存の施設の利活用も視野に入れて検討していただきたい。

(◎委員長 ○副委員長)

# 市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

- ◎剣持 雄吾 林 茂 今井 博 大橋 建太
- 桑原 一憲 佐藤 浩 佐藤 良徳

## 住居表示整備事業について

【市民課】

**問** 住居表示検討資料図作成業務委託料が計上されているがどういう地図を作成するのか何う。

**答** 今後行う住民説明会や審議会等へ来ていただいた方に分かりやすく説明するために作成する資料で、実施区域のまち割りを一覧できるように、線引きし一枚に重ねたものを何パターンか用意し説明させていただきます。

**問** 事業における今後のスケジュールについて何う。

**答** 新たに通称名を使ったまち割りの三パターンについてしっかり協議を行い、了承をいただき次第住民説明会を開催し意見をまとめ、審議会等で審議し、なるべく早いうちに議会へ上程したいと思います。

## がん予防事業について

【健康福祉課】

**問** 電算処理委託料が前年度より減額されている理由について何う。

**答** 令和四年度までは全世帯へ検診の希望調査を郵送し、返信いただいた結果を入力してもらったため委託料を計上していましたが、五年度からは希望調査をやめ、今まで検診を受診された方へ個人記録票を郵送し、それを基に予約システムから予約していた方法に変更するため、入力委託が不要になります。

**問** がん検診の対象者について何う。

**答** 幾つか種類がありそれぞれで異なる場合がありますが、基本的には四十歳以上です。

**問** 若年層でもがんになる方が増えてくるがなぜ四十歳以上なのか何う。

**答** 健康増進法で定められた年齢です。

(◎委員長 ○副委員長)

# 建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

## 五泉応援団交流ネットワーク事業について 【商工観光課】

◎伊藤 昭一 阿部 周夫 鈴木 良民  
○白井 妙子 羽下 貢 佐藤 渉

**問** 事業が始まった時期及び参加者数について最も多い時と令和四年の状況を伺う。

**答** 平成十二年一月から始まり、参加者については最も多かった時で三百九十九人、令和四年は百九十五人です。

**問** 参加者が最も多かった時に比べかなり減少しており、また参加者の皆さんが事業開始当初よりも高齢化してきていると感じる。事業内容について見直す時期に来ているのではないかと伺う。

**答** ご指摘のとおりであると認識しており、ふるさとと首都圏をつなぎ人を呼び込むための政策を掲げる五泉市としては、首都圏との交流を継続していく必要があると考えています。

高齢化についてはやむを得ない部分もあると思いますが、いかに若い世代の方を呼び込むか

## 舗装補修事業について 【都市整備課】

ということが課題となっており、今後はそのような裾野を広げる活動も視野に入れていきます。

**問** どのくらいの距離の舗装補修をするのか伺う。

**答** 十三路線、約五千八百メートルを予定しています。

**問** 道路の補修については町内等からの陳情のあった順に工事を行っているのか伺う。

**答** 陳情もしくは職員でパトロールを行い現場確認後、まずは簡易的に補修を行い、危険度の高い場所から順次本舗装を行っている。

**要望** 限られた予算の中でなかなか工事が進まない部分もあると思うが、通行者の安全のためにしっかりと道路管理を行っていただきたい。

(◎委員長 ○副委員長)

# 本会議のライブ配信を行っています

本会議開催中のみ配信となります。QRコードを読み取るか、**五泉市議会映像配信**で検索いただくと、議会中継のページをご覧いただけます。



スマホでも!  
タブレットでも!  
パソコンでも!

五泉市議会ホームページをご覧ください。  
<https://www.city.gosen.lg.jp/parliament/index.html>

市議会ホームページでは、議会だよりや議員名簿、議会の予定、議決結果など、五泉市議会の情報を発信しています。また、「会議録検索」をクリックすると、市議会本会議での会議録を閲覧することができます。

# 一般質問

# 問 答

## 11人が市政を問う！

【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。

【編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。】

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで6月頃から閲覧いただけます。



今後の市政運営について

阿部 周夫 議員

**問** 温故知新、五泉に人を呼び込む、次世代創造、活力ある五泉への挑戦、民間で培った力を生かして新しい市政、開かれた市政の実現等々を公約に田邊市長誕生から一年が経過した。五泉がさらに輝くまちに向けて、「新しい視点での次の一歩、ずっと五泉」を標榜し、全会計総額四百八億円の令和五年度の新年度予算である。コロナ禍、物価高、少子高齢化等々、様々な問題が山積している中、今後の五泉市政運営についての決意を伺う。

**答** 令和五年度は、第二次総合計画の後期基本計画の二年目になる。ウイズコロナ、ポストコロナに向けた社会経済活動、また市民活動の活性化を図るため、新しい視点、着想と発想で子供から高齢者まで切れ目ない施策展開をする。市民の誰一人取り残さない、五泉市に住んでよかったと誰もが実感し暮らせるまちづくりの実現にむけて予算を編成した。少子化の打開、人口減少の歯止め、市民と行政のコミュニケーション活性化、交流人口の促進、SDGsの取組と五つのテーマを重点施策として取り組む。



持続可能な除雪体制の構築について

桑原 一憲 議員

**問** 五泉市にとって、冬期間除雪体制の安定的な確保は、市民生活にとって重要な役割を担っている。除雪体制について、直営、協力業者の除雪機台数と人員体制、また除雪機の更新目安が十五年を経過した機械の使用状況。オペレーター年齢構成と人材確保の取組、及び協力業者の動向について現在の状況と今後のGPS除雪管理集計システムの運用状況をそれぞれ伺う。

**答** 市の保有する除雪車三十三台、リース車十台、協力業者からの借り上げ車六十七台となっており、協力業者六十五社、市の運転手四名の体制となっている。更新目安十五年を経過した除雪車は十七台。オペレーター担い手確保地域協議会と連携し、アンケート、PR動画、パンフレット作成を行った。協力業者の動向は、撤退一社、新規参入一社で、今後も現在の体制が持続できると考えられ、GPSシステムは大きな支障もなく除雪費の集計作業の効率化や運行情報の収集が可能となった。



子育て政策について

大橋 建太議員

**問** 本年に入り、政府は子育て政策に注力しており、東京都でも独自の政策として月五千円を十八歳以下の子供に支給するなど、全国的に少子化対策に注目が集まっている。五泉市の合計特殊出生率を希望出生率に近づけられるよう施策をどんどん行っていたらいいと思っているが、五泉市の出生率目標を令和八年に達成するため、保育料の無償化をはじめ、ほかの施策も併せて本年度はどのように子育て政策に取り組んでいく方針か伺う。

**答** 五泉市においても、重点施策の一番に少子化の打開を掲げ、新年度予算案では第三子以降の保育料無償化、子ども医療費の入院時一部負担金無償化、物価高騰に伴う給食費の支援、小中学校の遠距離通学支援の拡充など、子育てや教育に関する事業の新規取組や拡充を提案させていただいた。これまでの取組も含めて、子供を希望する方々が安心して出産、子育てできる支援、楽しく子育てできる環境整備に努めていく。



五泉中央病院の現状、  
問題点について

深井 邦彦議員

**問** 五泉中央病院には、五泉市から数年間に分けて、合わせて十億円の補助金が交付をされてきた。この補助金は、市民に寄り添った病院、市民に寄り添った医療サービスを提供してほしいとの思いから交付されたものと思う。しかし、市民からは救急医療での受け入れや対応が悪い、医師や看護師が不足している、交通の便で非常に不便であるなどの問題点を指摘する声が多く聞かれる。田邊市長は医療の中核を担う五泉中央病院の現状、問題点をどのように捉えているのか伺う。

**答** 医師や看護師の不足などの新潟県の地域医療は大変厳しい状況にあると認識している。市としては市長会などを通じて、国や県に対して地域医療を担う医師の確保を要望し、医師会及び五泉中央病院と連携して、市民が安心して医療が受けられるよう、医療体制の確保に努めていく。また、村松地域から五泉中央病院の交通アクセスの問題に長年強い要望があったが、令和五年度にタクシーの定額利用による実証試験を行う。今後も市民の利便性について研究をしていく。



五泉市の  
財政運営について

山田 正良議員

**問** 今後の健全な財政運営について伺う。村松地域を支援する事業計画でどのような政策があるのか、また物価高騰から市民の暮らしを守る大規模な支援策がさらに必要と考えるがご所見を伺う。

**答** 今後十年間、歳入の減少、歳出の増加が見込まれ、財源が不足すると推計されるが、財政調整基金を取り崩すことにより、赤字決算になることはない見通しになっている。

五泉地域から五泉中央病院間の乗換えなしで移動できるタクシーの定額運行実証試験や移動図書館を用いて行政サービスを提供する。市民と行政が協力し合い、一体となったまちづくりに取り組んでいくことが最も重要だと考えている。

大規模な支援については、今後の状況を考慮した上で検討する必要があるが、国や県の支援等を注視し、市民の声を聞きながら、補正予算等で迅速な支援策を行っていきたいと考えている。



令和五年度  
当初予算について

伊藤 昭一 議員

**問** 市長は、昨年五泉市に新しい風を吹かせ、民間で培った経験と人脈を生かし、トップセールスマンとして、県ナンバーワンのまちにすると五泉市民の大きな期待を受け船出をし、今回初めての予算編成に臨まれた。令和五年度、予算編成に当たって、市長として、何を主要な課題としているのか、また、大きく見直しを行った事業があれば、何かを伺う。

**答** 第二次五泉市総合計画後期基本計画の二年目として、五泉市の将来像である「ずっと五泉。く次の一步を、ともに未来へ」の実現を目指す上で、社会経済活動の活性化を図ることを念頭に置き、着想と発想の新しい視点を取り入れた基本方針により編成を行った。

重点施策の一番目は少子化打開を揚げ、第三子以降の保育料無償化、子ども医療費の入院時一部負担金の無償化、物価高騰に伴う給食費の支援、小中学校遠距離通学支援の拡充など、子育てや教育に関する事業の新規取組や拡充などを提案した。



市長のまちづくりの  
姿勢について

羽下 貢 議員

**問** 少子高齢化が進行している中、交通弱者と言われる子供や高齢者が安心して生活していくため、行政からの支援は欠かせないが、行政サービスが必須とされる方に届けるための方策。次に交流人口の拡大から関係人口の拡大、そして定住人口へと発展させることを表明してきたが、現状はどのように認識されたか。活力ある地域を作っていくため、様々な知識とスキルを持った人材の確保が望まれるが市長の考えをそれぞれ伺う。

**答** 村松地域から五泉中央病院間を乗換えせず移動できるタクシーの定額運行の実証試験の実施など、遠隔地に住む市民が安心して日常生活における利便性の向上に努める。次に人を呼び込むための役割を果たす一つの方策がイベント等で市外からの関心が高まりつつある新たなスポーツ活動の取組、さらなるふるさと応援寄附金事業などに力を入れ、五泉ファン等の関係人口の拡大を図る。今後他市を参考にし、新潟県ナンバーワンの五泉を目指していく。



生活困窮者への  
緊急支援実施を

波塚 静亮 議員

**問** コロナ禍で困窮が継続する中、昨年の秋からのエネルギー価格の高騰、食料品をはじめ諸物価が高騰し生活を直撃している。とりわけ低所得者への影響が深刻である。そこで生活保護基準の一・五倍所得水準の世帯へ一律緊急に五万円を支給し、また全世帯に水道基本料金三か月減免支援を要望するが、市長の見解と対策を伺う。

**答** 今回の補正予算では、昨今の物価高騰に対して、家計への影響が特に大きいと考えられる生活保護世帯や低所得の子育て世帯、市民税が非課税また均等割のみ課税の高齢者世帯約四千七百世帯を対象に、一世帯当たり五千円を支給するための予算を計上した。また水道基本料金の減免支援については、現在の水道料金を維持することが最大の市民サービスであると考えられており、今の料金水準を維持するためには、水道基本料金の減免は難しいと考えている。引き続き、物価の動向に注視しながら、健全で安定的な水道事業運営に努めていく。



柏崎刈羽原発  
再稼働について

長谷川 政弘 議員

**問** 政府はエネルギー情勢の変化から、原発推進への政策転換を閣議決定し、今夏以降の再稼働を目指すとしている。東京電力も四月以降の電気料金の算定基準に柏崎刈羽原発の再稼働を盛り込むと明らかにしている。花角知事は、県が進める原発に関する三つの検証が終わってからの議論としている。また、柏崎市長は今秋の再稼働に期待感を示された報道もある。原子力災害は三十キロ圏内の自治体だけの問題ではなく、県内全体の議論が必要な問題であると思うが、田邊市長は原発再稼働についてどのように考えているか伺う。

**答** 原発再稼働については、昨今の社会情勢を背景としたエネルギー政策は、中長期的視点に立って、将来を明確にするとともに、国民に対して責任ある説明が必要であると考えている。まずは県民の安全確保が前提となる三つの検証がまとまった後に、安全対策や事業者の適格性等について議論していただけるよう、関係機関と連携を取りながら要望をしていく。



感染症対策について

佐藤 良徳 議員

**問** 常に最善を求められる感染症の対応について、市民の安心・安全に繋がる今後の対応について。また、政府は五月八日から新型コロナウイルス感染症法上の分類を、現在の「二類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「五類相当」へ引き下げることを選定した。そのことにより具体的に何が変わるのか伺う。

**答** 感染症流行期に合わせ、広報等での感染予防の啓発と予防対策を呼びかけ、子供や高齢者には、インフルエンザの予防接種の助成を行うなど、感染予防と重症化予防に努める。

五類に引き下げられた場合の対応は、季節性インフルエンザと同じ分類となり、一般の医療機関でも入院患者の受入れが可能となる。感染者や濃厚接触者に求められている療養機関や待機の期間はなくなる。また、発熱外来も特にほかの感染と区分けをする必要がないと考える。今後も国の動向を注視し、情報収集に努め、保健所や関係機関と連携し、感染症の対策に努める。



学校看護師について

白井 妙子 議員

**問** 五泉市に学校看護師が配置され九年がたち、医療ケアを必要とする子供達が、地域の学校で同級生と共に学び、成長するために必要不可欠な存在である。緊急時に迅速に対応し、教員と密に連携し、専門性を生かして子供達の成長・発達を促しサポートする重要な役割を担っている。しかし学校看護師の認知は低く、現職の看護師もその存在を知らない人が多い。全国的に看護師不足のため看護師の確保が難しい現在、学校看護師確保のための取組、またバックアップ体制を伺う。

**答** 医療を必要とする児童生徒が、通常学級で共に教育を受けられるよう五泉市でも、関係機関と連携し、医療を必要とする児童生徒が入学する際は、看護師などを募集し人材確保に努めている。学校に配置された看護師は、学校職員として校長や担任の指導の下、看護の実務に携わっており、業務上の相談や支援は校長を中心に対応している。今後も教育活動に携わる職員が働きやすい職場となるよう努めていく。

# 令和5年度五泉市一般会計予算に対する 修正案が提出されました

— 次の修正案を可決しました。 —

## 議第23号 令和5年度五泉市一般会計予算 修正案

議第23号 令和5年度五泉市一般会計予算の一部を次のように修正する。

「第1表 歳入歳出予算」の一部を次のように改める。

歳出の10款教育費 6項保健体育費を18,700千円減額修正し、12款予備費 1項 予備費を18,700千円増額補正し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23,675,000千円とする。

### 【提案理由】

(仮称)アーバンスポーツ施設建設を構想するに当たって、施設の規模、建設費用も検討していない段階で設計委託料を提案することは時期尚早である。

これだけ大きな事業を始めるに当たって、まずは検討委員会で議論を重ね、基本方針等を立ててから提案すべきと考える。

よって(仮称)アーバンスポーツ施設建設事業 設計委託料1,870万円については、今2月定例会では議決しない旨とし、予備費に回し、設計委託料については、建設のための基本方針が固まった段階で提案すべき案件と判断し修正案を提出する。

### 《修正案反対討論要旨》

スポーツの概念も変化しており、世界の新たな潮流として、オリンピック・パラリンピックでは新スポーツ競技が正式種目となり、2024年のパリ、その先の2028年のロサンゼルスでも、アーバンスポーツが行われます。五泉市の更なる飛躍のために、「全ては五泉市・五泉市民のために」という理念を持って、新しい五泉市に向かって挑戦してください。

### 《修正案賛成討論要旨》

基本設計委託の前提となる基本方針には、近隣の事例や古い事例を参考に基本構想や基本計画を策定しては、後に予算計画や工程等に大きく乖離することとなります。基本計画の精度を高め、物価変動を想定した根拠資料の作成が重要であり、当初予算案では基本方針、基本構想、基本計画の策定準備が十分でなく、適切な設計業務の発注条件を示すことが困難と考える。減額修正は事前準備に当たる経費であり、事業の推進には時間を要するが、組み換え予算に賛成します。

## 請願について

— 次の請願を不採択としました。 —

◆令和3年12月からの継続審査 請願第5  
五泉市長や議員等の特別職の給与報酬削減を求める請願

◆請願第1  
「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願

## 発議について

— 次の発議を可決しました。 —

◆発議第1号  
五泉市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

【提出議員】 鈴木 良民、佐藤 浩、阿部 周夫、伊藤 昭一  
白井 妙子、深井 邦彦、波塚 静亮

### 【内 容】

個人情報保護法が改正され、地方公共団体の執行機関には個人情報保護法の規定が直接適用されることとなるが、地方議会は、国会や裁判所と同様、改正法の適用対象外となり、議会における個人情報保護の取扱いは、法形式や規律の内容も含め、その自立的な対応に委ねることとされ、令和5年4月までに、議会における個人情報保護に関する条例の制定等、議会として、適切な対応を図る必要があることから、五泉市議会においても、「五泉市議会の個人情報の保護に関する条例」を整備する。

## 会派別の構成は次のとおりです

令和5年2月15日現在

◎会派代表者

いずみ 泉水クラブ	◎牛腸 利栄	伊藤 昭一	佐藤 良徳
五泉クラブ	◎阿部 周夫 鈴木 良民 山田 正良	林 茂 佐藤 涉 大橋 建太	剣持 雄吾 佐藤 浩 熊倉 政一 深井 邦彦
さくらクラブ	◎桑原 一憲	白井 妙子	
清流クラブ	◎長谷川政弘	羽下 貢	
日本共産党 五泉市議会議員団	◎波塚 静亮	今井 博	

主な議案の議決結果【第1回 2月定例会】

【○：賛成, ●：反対, -：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議案概要																			
			議員名(議席番号順)																			
			1 大橋 建太	2 佐藤 良徳	3 山田 正良	4 波塚 静亮	5 深井 邦彦	6 桑原 一憲	7 白井 妙子	8 今井 博	9 (欠 番)	10 佐藤 浩	11 長谷 川政 弘	12 伊藤 昭一	13 佐藤 利栄	14 牛腸 良民	15 鈴木 政一	16 熊倉 雄吾	17 剣持 雄貢	18 羽下 周夫	19 阿部 周夫	20 林 茂
議第1号	専決処分報告承認について(令和4年度五泉市一般会計補正予算(第11号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第2号	川内辺地に係る総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第3号	蛭野辺地に係る総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第4号	五泉市議会委員会条例及び五泉市組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第5号	五泉市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第6号	五泉市子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第7号	五泉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第8号	五泉市家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第9号	五泉市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第10号	五泉市放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第11号	五泉市障害者地域生活支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第12号	五泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第13号	五泉市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第14号	五泉市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第15号	市有財産の減額貸付について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第16号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第17号	令和4年度五泉市一般会計補正予算(第12号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第18号	令和4年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第19号	令和4年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第20号	令和4年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第21号	令和4年度五泉市水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第22号	令和4年度五泉市下水道事業会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第23号	令和5年度五泉市一般会計予算	修正部分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		修正部分を除く原案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	令和5年度五泉市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第25号	令和5年度五泉市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第26号	令和5年度五泉市川東財産区一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第27号	令和5年度五泉市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第28号	令和5年度五泉市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第29号	令和5年度五泉市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第30号	令和4年度五泉市一般会計補正予算(第13号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第5	五泉市長や議員等の特別職の給与報酬削減を求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第1	「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願	不採択	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員発議第1号	五泉市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1 法律に特別の定めがある場合を除くほか、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加っていません。



粟島公園8夜桜

編集後記

今年のさくらの開花は一九五三年の統計開始以来、史上最速との報道です。

桜は前年の夏に花芽を形成してお休みし、準備をしています。春に気温が上昇すると花芽は一気に成長して咲き誇ります。暖冬だと早く咲くと思われがちなのですが、むしろ開花は遅れます。厳冬を乗り越えることで、花芽は眠りから覚めて開花へと歩みを始めます。これを「休眠打破」というそうです。

五泉市は新しい視点(着想と発想)で「コロナに負けるな」と社会経済活動の活性化を目指して走り出しました。今回の紙面は、新年度予算の組み換え修正案が審議されたことから割付を再検討して議論を掲載しました。これからお伝えしたい内容を掲載できるよう努めてまいります。

令和五年四月一日から自転車を運転する全ての人にヘルメットの着用が努力義務化されました。自転車死亡事故の約七割が頭部に致命傷を負っているそうです。

しっかりと着用して、爽やかな五月の風を感じながら、ペダルを踏みたいものです。

■広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 山田 正良 |
| 副委員長 | 佐藤 良徳 |
| 委員   | 阿部 周夫 |
| 委員   | 鈴木 良民 |
| 委員   | 佐藤 良民 |
| 委員   | 白井 妙子 |
| 委員   | 深井 邦彦 |

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911